（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ナナイロ　アートプロジェクト事業
事業主体 （連絡先）	ナナイロ会議実行委員会会議実行委員会 〒390-0874　長野県松本市大手 1-3-29 携帯 070-5540-0583　　メール　community@nanairo.design
事業区分	⑴ 地域協働の推進に関する事業 ⑶保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,926,110 円（うち支援金：3,140,000 円）

事 業 内 容

①障がいのある人によるアート展 2024 年 9 月 22 日-2024 年 12 月 22 日
期間中 5 市町、33 カ所にて展示開催。キュレーター:小川泰生、鈴木真知子、西川直子、北澤一伯（/中央図書館 /八十二銀行/松本イオンモール /JR 松本駅/スターバックスコーヒーMIDORI 店/信毎メディアガーデン/M ウィンング/街中ギャラリー等）
②障がいのある人のアートに常に体験できる展示を 3 カ月間常設
③デジタルアートインスタレーション（制作/企画: 小林宏嗣)
④表現ワークショップ（講師: 金井ケイスケ）
⑤サポーターの育成プログラム（講師: 西川直子）
⑥対話アートのレポートと支援している人や企業の参画フリーペーパー作成（10,000 部発行）
⑧3 年目の広がりとして、1 年目から目指していた長野市、上田市、安曇野市、下諏訪町での同時期間対話アート WEEK を開催

【街中で PR している様子】

【目標・ねらい】

①より街中や商店街に障がいという言葉を超えてインクルーシブアート展示の実施
②デジタルアートや演劇、音楽などの表現を取り入れる
③サポーター育成による支援できる人を増やす
④誰もが個性を発揮できるインクルーシブな社会をめざす

事 業 効 果

・アート展観覧者：総数約 276,531 人（目標：200,000 人）参加作家数：70 名以上
・展示作品総数：410 点 /・キュレーター数：9 人 /・サイドイベント：9 企画
・ボランティア参加者数：108 名（延べ人数）（目標：30 人）
・アートサポーター養成講座参加者数：22 名（延べ人数）
・対話アートを通じて、障がいのある人とない人が交わる場を創出しました。インクルーシブアートとして多様なアーティストが参加し、地域を超えた取り組み、企業による支援の理解が得やすい環境をつくる事ができた。アート・デジタルアート・音楽など多様な表現を取り入れ、障がいアートの枠を広げました。9 つのサイドイベントや高校との連携により、若い世代の関心を高め、地域の多様性や障がい支援への理解が深まりました。

※自己評価【A】

活動エリアを拡大し、同時開催も実現。展示や参加者数など全てが昨年度を上回り、障がいのある人とない人がつながる機会が増えた。
・アート展観覧者:約 57.9%増 /・会場数:9 会場→33 会場
・参加作家 70 名　展示数:410 点　/・サイドイベント→9 企画

今後の取り組み

助成金申請や企業のスポンサードを獲得により、対話アートを継続的に実施できるよう活動を行う。
誰もが個性を発揮できるインクルーシブな社会をめざす。
ナナイロ会議を定期的に実施し、企業への提供を模索する。
ボランティアメンバーの強化、人材育成などによる運営の安定化を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある